

熊 取 町

くまとり太極拳交流プロジェクト  
～太極拳でまちづくり～

はじめに

熊取町では、世界武術選手権大会のチャンピオンで、太極拳の指導者でもある陳静、渡邊俊哉ご夫妻が在住されており、自らも町内で「陳静武術太極拳研究会」を発足させ、太極拳の普及活動を行われています。太極拳は中国の伝統武術の一つで、形の正確さなどを競う競技。これまで延べ7,000人もの方が参加し、4つの愛好団体が発足するなど町内に広く普及しており、老若男女を問わず多くの住民の方々が太極拳に取り組んでいます。こういったことから本町は全国有数の太極拳の盛んなまちになっています。



太極拳の型を教え合う修学旅行生（煉瓦館）

プロジェクト立上げの経過

国において、2006年を日中観光交流年と定めているほか、2008年の北京五輪では、武術太極拳を正式種目として開催することが検討されています。

このような動きを契機に、関西国際空港と近接している点を活用して太極拳愛好家との交流を促進することにより、本町を「太極拳のまち“くまとり”」として内外に発信していくため、この「くまとり太極拳交流プロジェクト」を立ち上げることになりました。



文化交流の一つとして茶道を体験（中家住宅）

プロジェクトの概要と現時点の成果

1. 中国の修学旅行生との交流会を開催

7月29日（土）に、天津市から43名の修学旅行生（中学生）の受け入れを行い、重要文化財「中家住宅」での茶道・華道の体験や、熊取交流センター（愛称：煉瓦館）での「居合い」の見学、陳静氏やジュニア太極拳チームとの演武交流の実施等で、友好を深めました。

2. 中国研修ツアー「第2回世界伝統武術フェスティバル」への参加

陳静武術太極拳研究会が実施している中国研修ツアーに、本町職員1名を10月14日から19日まで派遣し、「第2回世界伝統武術フェスティバル」をはじめ、高名な太極拳指導者である馬春喜老師による講習会への参加や少林寺を訪問するなど、中国の太極拳を視察しました。



少林寺の演武を見学（中国研修）

### 3. 「くまとり太極拳交流フェスティバル」を開催

2001年から陳静武術太極拳研究会との共催で「くまとり太極拳フェスティバル」を開催しており、今年も11月12日（日）にひまわりドーム（熊取町立総合体育館）で実施、約300名が武術太極拳の演武による競技会、太極拳講習等を行いました。



くまとり太極拳交流フェスティバル

## 思わぬ波及効果

今回のプロジェクトは、太極拳交流を主体に推進しているところですが、大阪府の協力もあり、7月18日には中国・長春市の小中学生135人が来訪され、本町の小中学生とのブラスバンドの合奏や中国の歌の合唱を実施するなど、太極拳以外にも中国との交流が推進されています。

## バックアップ体制の充実

今後、この事業を推進するにあたっては、住民参加の促進はもちろんのこと、町内の大学等には多くの中国人留学生が勉学に励まれていることから、本町に立地する4つの大学等との連携が必要と考えています。

本町では、通訳ボランティアの登録制度を創設しており、今後、中国語通訳者の募集を強化していくなど、中国からの訪問団の受け入れに関して、十分な体制がとれるよう努めていきます。

## おわりに

現在、著しい成長を成し遂げている中国では、日本への旅行客が増加しています。

このような状況に鑑み、本町においては、中国人観光客の誘致を行いながら、地場産業の振興を図るべく、太極拳を通じた交流から出発しています。今後、太極拳が健康に与える影響について、町内の大学等と共同調査を行うとともに、「カンフータオル」のような太極拳関連の商品開発など、多方面で「太極拳のまち“くまとり”」を皆さまの協力を得ながら、推進していきます。

熊取町政策推進部広域政策課

TEL：072-452-1001（内線224）

E-mail：kouiki-seisaku@town.kumatori.lg.jp